

運用報告書（全体版）

日本金融ハイブリッド証券オープン （年1回決算型）

円ヘッジありコース/
円ヘッジなしコース

〈愛称〉ジェイブリッド年1

第5期（決算日 2021年6月14日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	2016年6月30日から2028年6月14日まで	
運用方針	<p>①日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等をいいます。）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。</p> <p>②「円ヘッジありコース」と「円ヘッジなしコース」があります。</p>	
主要投資対象	日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジありコース	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド受益証券
	日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジなしコース	
主な組入制限	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券
	日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジありコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。
	日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジなしコース	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース」は、このたび第5期の決算を行いましたので、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



リテール営業部 0120-69-5432

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

円ヘッジありコース

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率			
(設定日)	円		円		%		百万円
2016年6月30日	10,000		—		—		471
1期(2017年6月14日)	10,079		0		0.8	94.7	2,245
2期(2018年6月14日)	9,729		0		△3.5	97.8	1,271
3期(2019年6月14日)	10,330		0		6.2	97.6	1,027
4期(2020年6月15日)	10,978		0		6.3	95.1	841
5期(2021年6月14日)	11,339		0		3.3	96.6	722

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2020年6月15日	10,978		—		95.1
6月末	11,016		0.3		95.3
7月末	11,243		2.4		95.3
8月末	11,345		3.3		95.4
9月末	11,290		2.8		96.6
10月末	11,302		3.0		95.4
11月末	11,390		3.8		94.2
12月末	11,459		4.4		94.8
2021年1月末	11,369		3.6		97.2
2月末	11,268		2.6		99.0
3月末	11,144		1.5		98.5
4月末	11,200		2.0		95.9
5月末	11,243		2.4		98.1
(期 末)					
2021年6月14日	11,339		3.3		96.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

円ヘッジなしコース

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率			
(設定日)	円		円		%		百万円
2016年6月30日	10,000		—		—		73
1期(2017年6月14日)	10,970		0		9.7	96.7	222
2期(2018年6月14日)	10,844		0		△1.1	97.0	133
3期(2019年6月14日)	11,636		0		7.3	97.0	279
4期(2020年6月15日)	12,544		0		7.8	96.7	330
5期(2021年6月14日)	13,330		0		6.3	97.0	302

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2020年6月15日	12,544		—		96.7
6月末	12,651		0.9		96.5
7月末	12,555		0.1		97.5
8月末	12,754		1.7		96.8
9月末	12,746		1.6		97.2
10月末	12,629		0.7		96.3
11月末	12,648		0.8		95.8
12月末	12,693		1.2		95.7
2021年1月末	12,716		1.4		96.9
2月末	12,813		2.1		97.2
3月末	13,186		5.1		97.2
4月末	13,055		4.1		96.7
5月末	13,204		5.3		97.2
(期 末)					
2021年6月14日	13,330		6.3		97.0

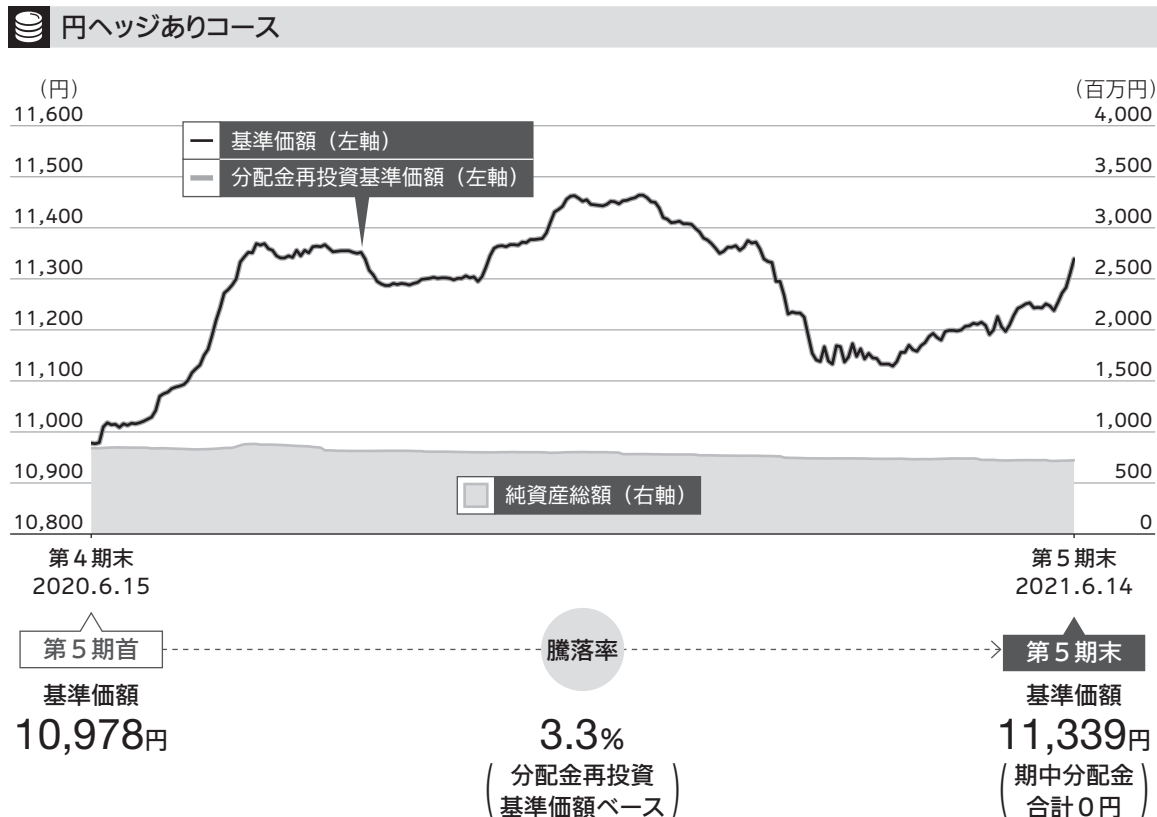
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2020年6月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジありコース

マザーファンドが保有する日本金融ハイブリッド証券の所有期間利回りが概ねプラスとなったことなどから、当ファンドの基準価額は上昇しました。なお、当ファンドは為替ヘッジを行っているため為替変動による影響は限定的でしたが、ヘッジコストが基準価額上昇の抑制要因となりました。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

期中の騰落率は+7.2%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券について、所有期間利回りが概ねプラスとなったことや、為替が米ドル高円安に推移したことなどから、基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

● 円ヘッジなしコース



- 分配金再投資基準価額の推移は、2020年6月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジなしコース

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したため、当ファンドの基準価額は上昇しました。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

期中の騰落率は+7.2%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券について、所有期間利回りが概ねプラスとなったことや、為替が米ドル高円安に推移したことなどから、基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

FRB（米連邦準備理事会）による金融緩和の長期化観測などから、2020年7月にかけて利回りは低下（価格は上昇）したものの、2021年3月にかけては、バイデン政権の追加経済対策や新型コロナウイルスのワクチン普及により米国景気の早期回復期待が高まり、金融政策の早期正常化観測が高まる中、利回りは上昇基調で推移しました。その後、期末にかけては、金融政策の早期正常化観測が一服したことなどから利回りは低下基調となりましたが、期末の利回りは期初を上回る水準となりました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇しました。

新型コロナウイルスの感染再拡大により欧州全域で経済活動の制限措置を導入する国が増加したことなどを受けて、利回りは2020年末にかけて低下基調で推移しました。その後は、世界的な景気回復期待の高まりや、域内の経済指標に改善が見られたことなどから、ECB（欧州中央銀行）による金融緩和の長期化観測が後退し、利回りは上昇基調で推移しました。結果、期末の利回りは期初を上回る水準となりました。

○英国債券市場

英国債券利回りは上昇しました。

EU離脱による不透明感や新型コロナウイルス感染拡大などを背景に2020年末にかけて利回りは低位で推移しましたが、ワクチン接種進捗率が先進国の中で高いことから経済の早期正常化期待が高まり、2021年2月にかけて利回りは上昇しました。その後、期末にかけて利回りは概ね横ばいで推移し、期末の利回りは期初を上回る水準となりました。

○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券は、基準となる米国債券利回りが上昇したものの、対国債スプレッドが縮小したことなどから、利回りは概ね低下しました。

○為替市場

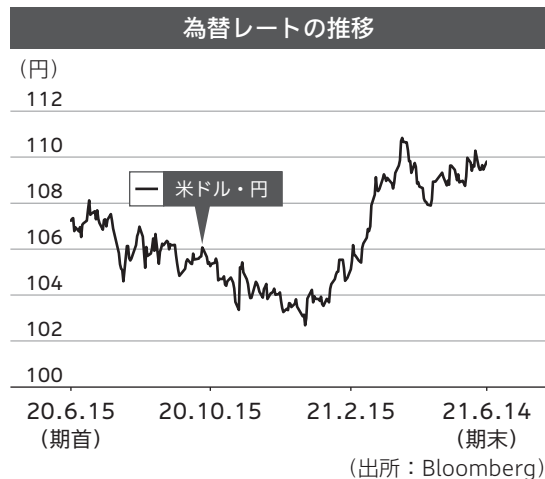
米ドル円は米ドル高円安となりました。

2020年末にかけては、米国債券利回りの低下による日米金利差の縮小や、新型コロナウイルスのワクチン開発期待などによる投資家のリスクセンチメントの改善などから、米ドル安円高が進行しました。その後は、FRBによる金融政策の早期正常化観測が台頭したことなどを背景に、米国債券利回りの上昇とともに日米金利差が拡大する中、2021年3月にかけて米ドル高円安基調で推移しました。期末にかけては、4月には実質金利主導で米国債券利回りが低下する中、一時米ドル安円高が進行する局面がありましたが、期間全体を通じてみると、米ドル円は米ドル高円安となりました。

● 当該投資信託のポートフォリオ

☰ 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

両コースとも、期を通して日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。円ヘッジありコースでは、為替変動リスクを回避する目的から、為替のフルヘッジを行っています。

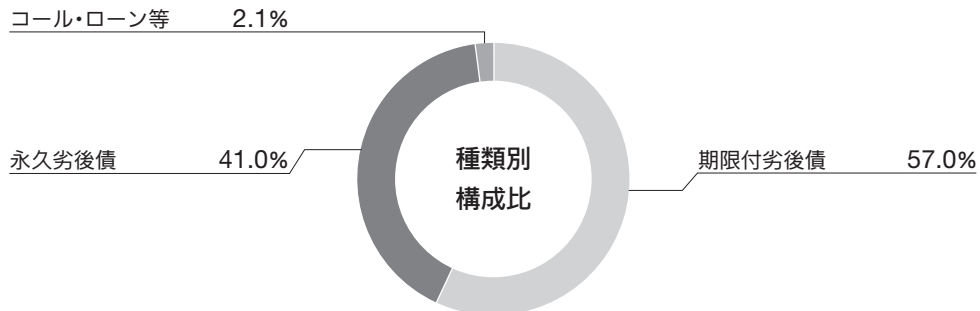


注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

決算日時点のポートフォリオは8銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

第5期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



注1. 比率は、第5期末における純資産に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

円ヘッジありコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第5期 2020.6.16～2021.6.14
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,769

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

円ヘッジなしコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第5期 2020.6.16~2021.6.14
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,330

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

円ヘッジありコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの上を目指します。また、為替変動リスクを回避する目的から為替のフルヘッジについても継続します。

円ヘッジなしコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの上を目指します。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

投資環境の変化を引き続き注視しながら、現在のポートフォリオ特性を今後も原則維持する方針です。また適宜利回りの高い債券への入替えを行い、トータルリターンの上をを図る方針です。

● 1万口当たりの費用明細

 円ヘッジありコース

項目	第5期 2020.6.16～2021.6.14		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	104円	0.921%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">期中の平均基準価額は11,272円です。</div>
（投信会社）	（ 49）	（0.439）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（ 49）	（0.439）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 5）	（0.044）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.025	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（ 1）	（0.010）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 2）	（0.015）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	107	0.946	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

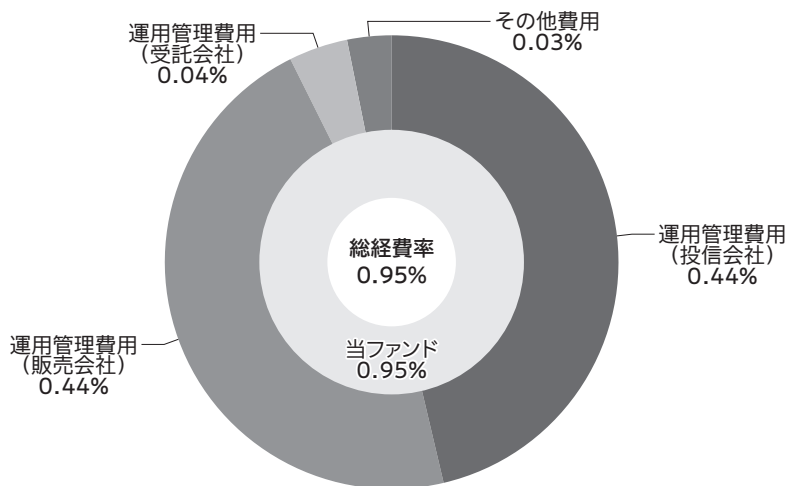
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.95%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

 円ヘッジなしコース

項目	第5期 2020.6.16～2021.6.14		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	118円	0.921%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,804円です。
（投信会社）	（ 56）	（0.439）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（ 56）	（0.439）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 6）	（0.044）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.025	(b)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（ 1）	（0.010）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 2）	（0.015）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	121	0.946	

注1．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

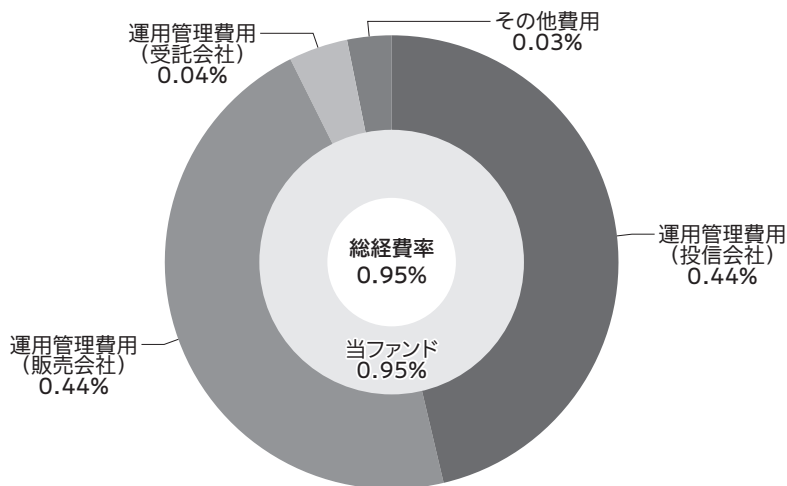
注2．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3．比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.95%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

円ヘッジありコース

○売買及び取引の状況

(2020年6月16日～2021年6月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設		定		解		約	
		口	数	金	額	口	数	金	額
			千口		千円		千口		千円
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド			8,503		14,000		104,206		172,750

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日～2021年6月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年6月14日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)			当 期 末		
		口	数	評 価 額	口	数	評 価 額
			千口		千口		千円
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド			510,579		414,876		713,213

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、当期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2021年6月14日現在)

項	目	当 期 末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド		713,213	97.6
コール・ローン等、その他		17,634	2.4
投資信託財産総額		730,847	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 日本金融ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(4,821,270千円)の投資信託財産総額(4,871,395千円)に対する比率は、99.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.81円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年6月14日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,402,319,808
コール・ローン等	17,633,382
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	713,213,778
未収入金	671,472,648
(B) 負債	679,627,644
未払金	676,097,576
未払解約金	30,000
未払信託報酬	3,444,719
未払利息	42
その他未払費用	55,307
(C) 純資産総額(A-B)	722,692,164
元本	637,337,268
次期繰越損益金	85,354,896
(D) 受益権総口数	637,337,268口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,339円

(注1) 信託財産に係る期首元本額766,548,953円、期中追加設定元本額77,630,940円、期中一部解約元本額206,842,625円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額1.1339円

○損益の状況（2020年6月16日～2021年6月14日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 12,741
支払利息	△ 12,741
(B) 有価証券売買損益	27,688,728
売買益	65,912,525
売買損	△38,223,797
(C) 信託報酬等	△ 7,393,583
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	20,282,404
(E) 前期繰越損益金	48,897,638
(F) 追加信託差損益金	16,174,854
(配当等相当額)	(24,554,953)
(売買損益相当額)	(△ 8,380,099)
(G) 計(D+E+F)	85,354,896
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	85,354,896
追加信託差損益金	16,174,854
(配当等相当額)	(24,692,300)
(売買損益相当額)	(△ 8,517,446)
分配準備積立金	88,098,525
繰越損益金	△18,918,483

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程（2020年6月16日～2021年6月14日）は以下の通りです。

項 目	2020年6月16日～ 2021年6月14日
a. 配当等収益(費用控除後)	20,126,109円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	24,692,300円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	67,972,416円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	112,790,825円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,769円
g. 分配金	0円

円ヘッジなしコース

○売買及び取引の状況

(2020年6月16日～2021年6月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 52,729	千円 86,330	千口 82,039	千円 134,900

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2020年6月16日～2021年6月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年6月14日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 203,954	千口 174,644	千円 300,231

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、当期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2021年6月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千円 300,231	% 98.6
コール・ローン等、その他	4,209	1.4
投資信託財産総額	304,440	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 日本金融ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(4,821,270千円)の投資信託財産総額(4,871,395千円)に対する比率は、99.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.81円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年6月14日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	304,440,034
コール・ローン等	4,208,833
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	300,231,201
(B) 負債	1,463,192
未払解約金	14
未払信託報酬	1,440,084
未払利息	10
その他未払費用	23,084
(C) 純資産総額(A-B)	302,976,842
元本	227,286,923
次期繰越損益金	75,689,919
(D) 受益権総口数	227,286,923口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,330円

(注1) 信託財産に係る期首元本額263,706,719円、期中追加設定元本額78,502,813円、期中一部解約元本額114,922,609円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額1.3330円

○損益の状況（2020年6月16日～2021年6月14日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 3,451
支払利息	△ 3,451
(B) 有価証券売買損益	19,296,624
売買益	21,618,757
売買損	△ 2,322,133
(C) 信託報酬等	△ 3,128,746
(D) 当期損益金(A+B+C)	16,164,427
(E) 前期繰越損益金	18,043,222
(F) 追加信託差損益金	41,482,270
(配当等相当額)	(24,291,617)
(売買損益相当額)	(17,190,653)
(G) 計(D+E+F)	75,689,919
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	75,689,919
追加信託差損益金	41,482,270
(配当等相当額)	(24,449,086)
(売買損益相当額)	(17,033,184)
分配準備積立金	34,207,649

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程（2020年6月16日～2021年6月14日）は以下の通りです。

項 目	2020年6月16日～ 2021年6月14日
a. 配当等収益(費用控除後)	9,386,365円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	6,778,062円
c. 信託約款に規定する収益調整金	41,482,270円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	18,043,222円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	75,689,919円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,330円
g. 分配金	0円

○お知らせ

日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジありコース

日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジなしコース

- ・信託期間を7年間延長し、信託期間終了日を2021年6月11日から2028年6月14日に変更するため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2020年9月15日）。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

運用報告書

第8期（決算日 2020年12月14日）

<計算期間 2019年12月17日～2020年12月14日>

日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建てのハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等）
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%		%	百万円
4期(2016年12月14日)	13,428	△	2.5	97.7		12,039
5期(2017年12月14日)	14,139		5.3	98.2		13,559
6期(2018年12月14日)	14,032	△	0.8	97.7		9,220
7期(2019年12月16日)	15,720		12.0	98.1		8,216
8期(2020年12月14日)	16,364		4.1	97.3		7,306

(注1) 基準価額は1万口当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
				騰 落	率		
	(期 首)		円		%		%
	2019年12月16日		15,720		—		98.1
	12月末		15,759		0.2		96.8
	2020年1月末		15,901		1.2		97.6
	2月末		16,153		2.8		97.5
	3月末		14,773		△6.0		96.4
	4月末		15,542		△1.1		95.6
	5月末		16,008		1.8		97.0
	6月末		16,186		3.0		97.6
	7月末		16,073		2.2		98.4
	8月末		16,350		4.0		97.8
	9月末		16,350		4.0		98.2
	10月末		16,202		3.1		97.3
	11月末		16,240		3.3		96.8
	(期 末)						
	2020年12月14日		16,364		4.1		97.3

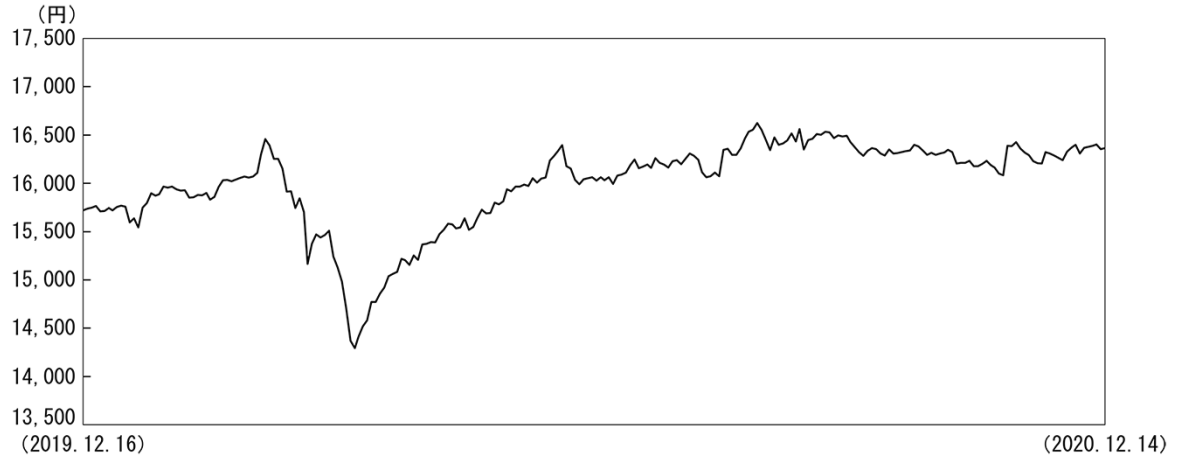
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○運用経過

(2019年12月17日～2020年12月14日)

■基準価額の推移



期首：15,720円
 期末：16,364円
 騰落率：4.1%

■基準価額の主な変動要因

保有する日本金融ハイブリッド証券について、対国債スプレッドはまちまちな動きとなったものの、基準となる米国債券利回りが低下（価格は上昇）したことなどから、インカム収益と合わせて、基準価額は上昇しました。なお、為替は円高に推移したことから、基準価額上昇の抑制要因となりました。

■投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは低下しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、FRB（米連邦準備理事会）が無制限の金融緩和姿勢を打ち出したことなどから、2020年3月にかけて利回りは低下しました。その後、期末にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発期待などから、利回りは緩やかな上昇（価格は下落）基調で推移したものの、期末の利回りは期初を下回る水準となりました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは低下しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、ECB（欧州中央銀行）による金融緩和期待が高まったことなどから、2020年3月にかけて、利回りは低下しました。その後、期末にかけては、ユーロ圏のインフレ率の低迷や、欧州全域における新型コロナウイルスの感染再拡大などを受けて、利回りは低下基調で推移しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは低下しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、BOE（イングランド銀行）が利下げや資産購入枠の拡大などを実施したことや、英国とEU（欧州連合）間の貿易交渉の先行き不透明感などから、2020年7月にかけて利回りは低下しました。その後、期末にかけては、ワクチン開発期待などから、利回りは上昇基調で推移しましたが、期末の利回りは期初を下回る水準となりました。

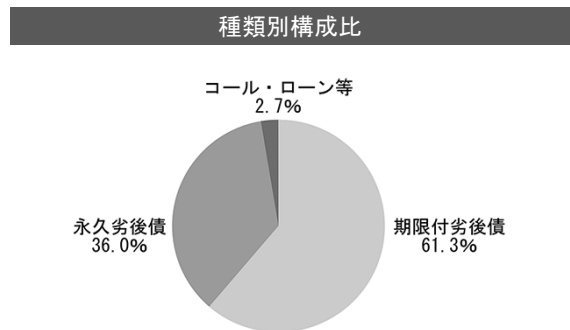
○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券は、対国債スプレッドはまちまちな動きとなったものの、基準となる米国債券利回りが低下したことなどから、利回りは低下しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

決算日時点のポートフォリオは7銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです



(注1) 比率は、第8期末における純資産に対する割合。

(注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

投資環境の変化を引き続き注視しながら、現在のポートフォリオ特性を今後も原則維持する方針です。また適宜利回りの高い債券への入替えを行い、トータルリターンの上昇を図る方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年12月17日～2020年12月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 信託事務の処理にかかるその他の費用等
(保 管 費 用)	2	0.010	
(そ の 他)	(2)	(0.010)	
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は15,961円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2019年12月17日～2020年12月14日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 8,878

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年12月17日～2020年12月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年12月14日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	60,400	68,346	7,110,790	97.3	—	68.3	29.1	—
合 計	60,400	68,346	7,110,790	97.3	—	68.3	29.1	—

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円			
普通社債券 (含む投資法人債券)	DAI-ICHI 4.0 260724	4.0	17,000	18,748	1,950,641	2026/7/24	
	MEIJIYASUDA 5.2 251020	5.2	16,200	18,644	1,939,782	2025/10/20	
	MIZUHO FG 4.6 240327	4.6	1,600	1,756	182,780	2024/3/27	
	MSINS 4.95 290306	4.95	5,500	6,562	682,744	2029/3/6	
	NIPPON LIFE 4.7 260120	4.7	17,100	19,349	2,013,140	2026/1/20	
	SUMITOMO LIFE 4.0 270914	4.0	1,000	1,110	115,560	2027/9/14	
	SUMITOMO MI 3.202 290917	3.202	2,000	2,173	226,141	2029/9/17	
	合 計				7,110,790		

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 繰上償還条項が付与されている銘柄については、繰上償還予定日を償還日に記載しています。

*当ファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2020年12月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 7,110,790	97.3%
コール・ローン等、その他	195,764	2.7%
投資信託財産総額	7,306,554	100.0%

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建資産(7,245,444千円)の投資信託財産総額(7,306,554千円)に対する比率は、99.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=104.04円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年12月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,306,554,170
コール・ローン等	109,200,838
公社債(評価額)	7,110,790,980
未収利息	86,562,352
(B) 負債	133
未払利息	133
(C) 純資産総額(A-B)	7,306,554,037
元本	4,465,009,911
次期繰越損益金	2,841,544,126
(D) 受益権総口数	4,465,009,911口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,364円

(注1) 信託財産に係る期首元本額5,226,590,367円、期中追加設定元本額323,742,032円、期中一部解約元本額1,085,322,488円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

日本金融機関ハイブリッド証券ファンド	円ヘッジあり	1,337,219,713円
日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)	円ヘッジありコース	2,126,111,244円
日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)	円ヘッジなしコース	335,371,992円
日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型)	円ヘッジありコース	479,946,292円
日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型)	円ヘッジなしコース	186,360,670円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 1.6364円

○損益の状況 (2019年12月17日～2020年12月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	310,422,533
受取利息	310,487,650
支払利息	△ 65,117
(B) 有価証券売買損益	12,306,461
売買益	378,851,537
売買損	△ 366,545,076
(C) 保管費用等	△ 781,935
(D) 当期損益金(A+B+C)	321,947,059
(E) 前期繰越損益金	2,989,526,611
(F) 追加信託差損益金	185,577,968
(G) 解約差損益金	△ 655,507,512
(H) 計(D+E+F+G)	2,841,544,126
次期繰越損益金(H)	2,841,544,126

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

- ・2020年4月1日の委託者の名称等変更に伴い、委託者名および電子公告の掲載アドレスが変更となるため、信託約款に所要の変更を行いました(2020年4月1日)。